



博物館学特別講義Ⅰ (学術標本・資料学)

標本はどのように作られているの？

標本と骨董品との違いは？

博物館の標本庫はどのようにになっているの？

博物館学特別講義Ⅰでは各専門分野における標本・資料の意味、取り扱い方を理解します。具体的には、標本・資料の採取・収集法、保管法、利・活用の技法、データ整理・公開法などについての知識や考え方を習得します。実際に標本に触れてみたり、普段入ることのできない標本庫に案内してもらうことのできる、充実した授業内容です。

自然史分野

哺乳類・鳥類 (昆泰寛)

分子系統進化 (増田隆一)

陸上植物 (高橋英樹)

魚類 (矢部衛)

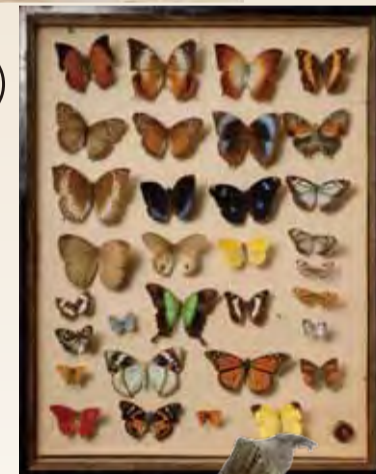
古生物 (小林快次)

昆虫 (吉澤和徳)

岩石・鉱物 (山本順司)

海藻 (阿部剛史)

昆虫データベース (大原昌宏)



文化史分野

縄文・アイヌ文化考古学 (小杉康)

動物考古学 (江田真毅)

言語学 (津曲敏郎)

民族学 (佐々木亨)



2013年10月4日(金)開講

日時：毎週金曜日 (5講時) 16時30分～18時

場所：総合博物館2階 共同研究室

◎履修届け等については、北大HPの「大学院共通授業」をご覧ください。
<http://syllabus01.academic.hokudai.ac.jp/Syllabus/App/Search/DetailMain.aspx?>

◎4年生で受講希望の場合は、事前に高橋英樹教授にご相談ください。

問い合わせ先：総合博物館 高橋英樹教授 (011-706-4508)

